

=====

## 市民連合が、野党共闘の実現に向けて、 立憲野党に要請を行いました（続報）

### 立憲野党と市民の共闘で、憲法9条と13条の政治の実現を

8月10日の「伝言板」890号で、安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合（略称：市民連合）が立憲民主党への要請行動を行なったことをご知らせしましたが、今号では、既報の立憲民主党への要請の写真を補い、その後に行なわれた、れいわ・社民・共産への要請行動についてお知らせします。

要請書は、添付資料を参照してください。

#### 1. 立憲民主党（写真のみ補強）



#### 2. れいわ新選組

8月9日17時15分から衆議院第二議員会館で行われました。れいわ新選組から

は榎渕万里共同代表が、市民連合からは市民と野党をつなぐ会@東京から鈴木国男さん、松井奈穂さん、蕪澤進さん、事務局として福山真劫さん、竹内広人さんが参加しました。

冒頭、鈴木国男さんから「翼賛体制を作らせないために、立憲野党の共闘を強化してほしい」として、要請書「立憲野党と市民の共闘で、憲法9条と13条の政治の実現を」の内容に沿って要請しました。



続いて各参加者から、自治体選挙や国政選挙を通じて地域での市民と各立憲野党とのネットワークができてきていること、翼賛体制に向かっている日本の政治に対する危機感と、それを打開するためには、立憲野党と市民が共闘していくしかないことなど、発言がありました。

これに対し、榎渕共同代表からは「要請書の内容について異論はない。趣旨については賛成だ。この間の国政選挙でも、れいわ新選組は、消費税について5%にするということを前提として、候補者をおろしてきた。しかし、先の衆議院選挙での東京8区(山本共同代表が選挙区から比例に回った)では残念な状況があり、これについては、きちんとした総括が必要だ。野党共闘については、政策を実現するためのものでなければならない、国民のためのものでなければならない。貧困・格差が深刻化しつつある今、国民の暮らしを良くすることが必要で、れいわ新選組もそのような目的の野党共闘に貢献できればいいと思っている。」との発言がありました。



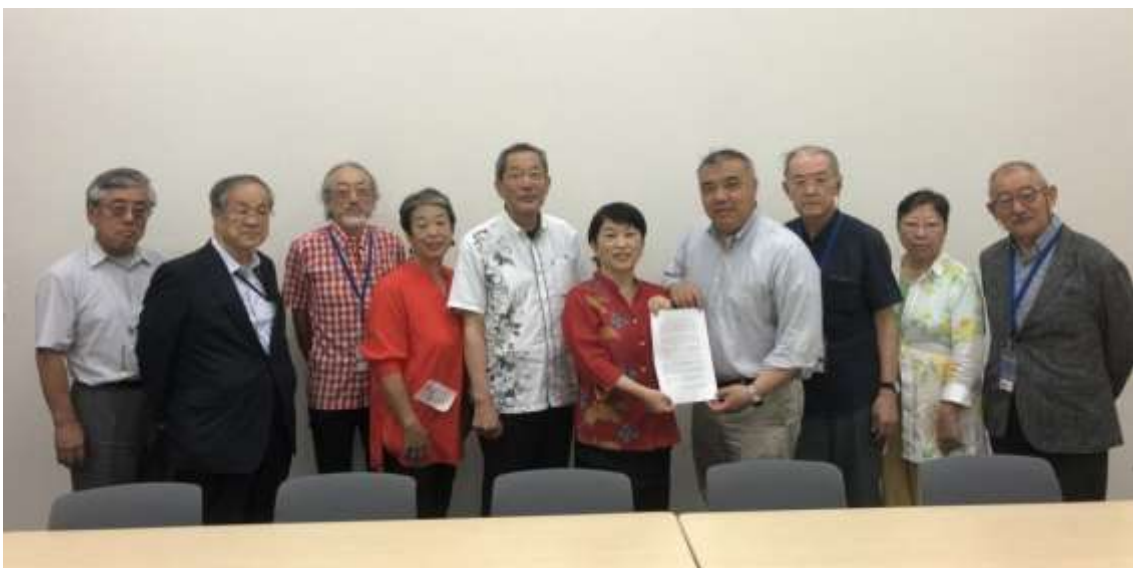
続いて、各参加者から、政党間だけでなく、そこに市民が入って共闘の形を作っていく必要があることや、違う考えの政党・団体が共闘していく上では、お互いを「リスペクト」としながら進めていくことが重要であることなどの発言がありました。また、櫛渕共同代表からは、当日が8月9日の長崎・原爆の日であったことも踏まえて、核廃絶の必要性や、北東アジアの非核構想実現の必要性などについて発言があるなど、有意義な意見交換がされました。



最後に、立憲野党と市民の共闘の実現に向けて、引き続き努力していくことを確認し、要請を終えました。

### 3. 社会民主党

8月10日13時から参議院議員会館で行われました。社会民主党からは福島みずほ党首、服部良一幹事長が、市民連合からは運営委員の中野晃一さん、戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会の高田健さん、土井登美江さん、市民と野党をつなぐ会@東京から松井奈穂さん、葺澤進さん、岡本達思さん、事務局として福山真劫さん、竹内広人さんが参加しました。



要請書を手交したのち、中野晃一さんから「今の国会は、まるで憲法がないかのような状態で、お互い競い合っただけの出鱈目なことをやっているように見える。このような時に、

野党がどのような政治のビジョンを共有するのかが大切になってきている。このために憲法9条と13条を共通の政策ビジョンに据えて、憲法に基づく立憲民主主義を堅持していくべきと、要請させていただいた。そのような志を同じくする立憲野党の候補者の調整を、さらに大きく前進させることを要望したい。」と要請しました。

続いて参加者から、「第2自民党」を自称する日本維新の会が野党第一党になれば、憲法改正が一举に進むのではないかとの危機感や、女性議員を増やしてほしいこと、野党共闘に向けた地域での努力の報告や、社民党に立憲野党のつなぎ役になって欲しいこと、今の岸田政権が進める悪政を転換するために、市民と野党の共闘が必須であることなどについて、発言がありました。



福島みずほ党首は「思いは全く一緒だ。日本維新の会の『第二自民党』発言に対する危機感も共有している。必要なことは市民と野党の共闘を広げていって、こちら側は違う未来を作るのだ、ということをはっきり示していくことだと思う。社民党としては、次の衆議院選挙では、全てのブロックに選挙区候補を擁立していきたいと考えているが、同時に野党共闘の重要性も認識している。政党はそれぞれ組織原理や考え方の違いがあるが、今の悪政を変えていくという大きなところで一致して、やっていくことが必要だ。その際必要なのは選挙のための共通認識であって、政権公約ではない。まずは今の状況を変えるために、大きな政策方向で立憲野党がまとまる必要がある。その上で、地域ごとに事情にあわせた市民と野党の共闘のやり方があると思うので、そこは画一的にやるべきではないと考えている。」と述べました。

服部良一幹事長からは「第1野党が日本維新の会に変わることになると、文字通り体制翼賛化が完成してしまう。改憲もリアリティーを持ってくるだろう。次の衆議院選挙は、戦後政治の流れがどうなるのかの分岐点になる。このような時、野党共闘を進める時にも、政策の軸がブレないようにしないといけない。」との発言がありました。



#### 4. 日本共産党

8月10日15時30分から衆議院第一議員会館で行われました。日本共産党からは志位和夫委員長、小池晃書記局長、田村智子政策委員長が、市民連合からは運営委員の中野晃一さん、戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会の高田健さん、土井登美江さん、市民と野党をつなぐ会@東京から松井奈穂さん、葦澤進さん、岡本達思さん、市民連合あきる野の山下千尋さん、事務局として福山真劫さん、竹内広人さんが参加しました。



冒頭、中野晃一運営委員から「自民党の麻生副総裁が台湾で『戦う覚悟が地域の抑止力になる』と発言したことが伝えられている。平和を脅かす大変危険な発言であり、このような状況の中で、さらに日本維新の会が野党第一党になる事態がどういう意味を持つか、大変危惧をしている。今の政治の無責任体制の中で、誰もが責任を負わず、国会も憲法もないような状態をなんとかして変えていかなければならない。そのためには、野党が有権者に選択肢を示すことが必要であり、各野党でどういう政治のビジョンを共有することができるのか、議論が必要だ。今回の要請でお示しした憲法9条や13条などの理念は、共有できるものだと思う。引き続き野党共闘の実現に向けて努力をお願いしたい。」と要請しました。

続いて各参加者から、憲法改悪への危機感やそれを阻止するために立憲野党が共闘することの必要性、女性議員を増やしていくこと、野党共闘に向けた地域での努力の報告や、岸田政権が進める悪政を転換するために、市民と野党の共闘が必須であることなどについて発言があり、また、日本共産党が選挙区に候補者を擁立する際に、市民とも話しあって決めていってほしいことや、地域で直接各立憲野党間の政策協定を結んでいくことは可能かどうかなどの要望・質問がありました。



志位和夫委員長からは「今の政治状況に対する危機感は皆さんと同じだ。2015年の安保法制、そして今の『敵基地攻撃能力の保有』など、二重に立憲主義がないがしろにされている状態だ。2015年以来あしかけ8年、市民連合の皆さんと一緒にやってきた。色々困難なこともあったが、各選挙で成果を上げてきたと思っている。今日改めてお話ししておきたいのは前回衆議院選挙の評価だ。メディアはあたかも野党共闘が失敗したような書き方をしたが、我々は失敗したと思っではおらず、成功した事例も数多くあった。それを前提として、前に進む必要があると思っている。野党共闘を再構築しなければならないと思っているが、現状ではさまざまな難しい問題がある。特に問題なのは、候補者調整はやるけれど、選挙協力はしないとされていることであり、こう言われると前に進めなくなる。また、地域での政策協定については、国政の話でもあるので、やはり政党本部間でのなんらかの合意が必要になると考えている。そうでなければ政策の実現に対して責任を持ち得ない。この点については理解をお願いしたい。」との発言がありました。

また、田村智子政策委員長からは、東京の各選挙区を回ってみて、改めて野党共闘の成果を実感しているとの発言がありました。



これに対して、中野晃一運営委員から「我々も2021年の衆議院選挙は失敗だとは思っていない。確かにもうひと押しすれば勝てたところが惜敗するなど、不十分な点はあったが、成果も大きかった。野党共闘か各党の主体性強化か、という誤った二択に陥ってはならない。市民連合の性格上、この間、どうしても選挙区での候補者の一本化というところに力点が置かれてきた。しかし同時に比例で各立憲野党の得票を増やすことも重要だ。日本共産党としても、比例得票を増やすために、ぜひ魅力ある独自のメッセージを出して行ってほしい。」と発言、これに対して志位和夫委員長から、「立憲野党各党がそれぞれの魅力を発信し、お互いに努力をしあうことが必要だ。また、マスコミが今の軍拡に向けた危険な動きを報道しない中で、運動を活性化させることも必要だ。この秋には、九条の会や、総がかり行動がいろいろな集会を企画していると聞いている。そのような取り組みの中から、共闘をつくり上げていこう。」との発言があり、引き続き協力していくことを確認して、要請を終了しました。

## <今日の伝言>

### ◆いやだの会事務局から

## 8月以降の市民運動・行動計画補正版

前号での日程表の内、8月15日と9月15日の行動場所について誤りがありました。誤りを補正して掲載しますが、さらに間違いや変更気づいた時はお知らせください。

8 /	15 (土)	統一署名行動(121)	15:00	国領
	19 (土)	第93回総がかり行動	14:00	国会議員会館前 13:15 新宿集合
	20 (日)	憲法ひろば例会 (東海林次男さん)	13:30	たづくり601 & 602
	21 (月)	医療生協・調布運営委員会	13:30	教育会館202
	23 (水)	年金者役員会	13:00	あくろす3階
	24 (木)	市民による市政	14:00	たづくり305
	25 (金)	社会保障宣伝 (年金者)	11:00	調布駅
		憲法ひろば事務局会議	14:00	あくろす
	26 (土)	医療生協「薬の話」	13:00	教育会館201
	30 (水)	ちょこみた連絡委員会	10:00	たづくり304
9 /	1 (金)	プレ企画「九条の会大集合」	18:30	文京区民センター2A
	2 (土)	戦争反対スタンディング 39	17:00	調布駅
	3 (日)	統一署名行動(122)	13:00	調布駅
	9 (土)	憲法・平和宣伝 (新婦人&年金者)	16:00	調布駅
	11 (月)	第129回「原発ゼロ」調布行動	10:30	調布駅 (新婦人担当)
	12 (火)	九条の会、10・5集会相談会③	15:00	文京区民会館
	15 (金)	統一署名行動(123)	15:00	仙川
	18 (月)	憲法ひろば例会 (根木山幸夫さん)	13:30	たづくり1002
	19 (火)	第94回総がかり行動	18:30	国会議員会館前 17:45 新宿集合
	23 (土)	年金者組合総会	13:00	あくろすホール
	25 (月)	社会保障宣伝 (年金者)	11:00	調布駅
10 /	3 (火)	統一署名行動(124)	13:00	調布駅
	5 (木)	九条の会大集合	18:00	なかのZERO 大ホール
	6 (金)	年金者学習会 (えん罪)	14:00	
	7 (土)	健康ウォーク		
		戦争反対スタンディング 40	14:00	調布駅
	9 (土)	憲法・平和宣伝 (新婦人&年金者)	16:00	調布駅
	11 (月)	第130回「原発ゼロ」調布行動	10:30	調布駅 (新婦人担当)
	15 (日)	統一署名行動(125)	15:00	つつじヶ丘
	19 (木)	第95回総がかり行動	18:30	国会議員会館前 17:45 新宿集合
	22 (日)	憲法ひろば例会 (靖国神社)	13:00	現地集合
	25 (水)	社会保障宣伝 (年金者)	11:00	調布駅

以上